

プラザ自主活動のおすすめポイント

point 相談できる

01

イベントの企画・運営の経験則がある職員たちが相談にのります。

point 広報活動

02

施設SNSやサイトでの発信はもちろん、外部施設・媒体への発信もお手伝いします。

point サポートの充実

03

プラザの部屋・機材・印刷機・物品を無料で使用可能。必要な物品の購入もプラザが担います。※規定あり

例 実際に中学生が企画した「ユースカンジャム」

以下は1例です。スケジュールやサポート内容は皆さんのやりたいことにあわせて変動します。

4月上旬

プラザに相談

5月上旬

企画書を作成

5月下旬

広報

7月下旬

当日

青少年の皆さんの動き

本人がプラザに来たときに、「YouTube でみた、ヨーロッパの“カンジャム”っていうスポーツをプラザでやってみたい！」と話してくれました。



簡単な企画書（プラザが掲載している様式）を提出しました。企画書を作成することで本人の中にあるイメージを言語化できます。



本人がチラシを作成。このイベントの対象者・広報規模を考えました。この企画では本人の母校にチラシを配架しました。



なにを、いくつ作るか、何が必要かを職員に伝えました。本人がプラザに来れるときに道具などの準備を進めました。



イベントの運営を本人が主体となって行いました。最後に振り返りをし、第2回目に向けてどうしたいか考えました。



プラザ職員のサポート

職員は聞き取りをしながら、プラザで出来る活動のうち、どれが本人の希望に合っているか見立てました。



企画書を見ながら本人と打ち合わせます。イベントの規模・イメージを確認しつつ、実現にあたってどんな方法があるか提案しました。



チラシの内容を確認し、本人のやりたいことが伝わるように校正・助言しました。チラシ印刷代はプラザが負担。広報の規模は本人の意向どおり、ネット上での広報も行いました。



どんな規模・イメージかをチャットなどで本人と確認。活動できる場所の確保、材料・景品の購入はプラザが担います。本人の意向にあわせてルールなどに助言しました。



今回は運営を本人1人で行ったため、点数計算・参加者対応などの当日運営をサポートしました。振り返りでは本人の気持ちを聞き取り、運営の効率化など客観的な意見を共有しました。



他には

ユースマ（オンラインゲーム大会を大画面でやってみたい）、フェス（音楽フェスをやってみたい）

ラムネスタンド（ラムネジュースを売ってみたい）、ダンス教室（踊る楽しさをみんなに伝えたい） など

✓ 企画やイベントをつくりたい方

✓ 好きなことをしたい・広めたい方

✓ 地域とつながりたい方

✓ 失敗することが不安な方

自主活動の要項はこちらから



ご興味があれば、お気軽にご連絡ください。